

目標達成計画

作成日：平成25年3月 25日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	基本理念について職員は共通理解を図り理念を元に運営を行っているが、家族や外部の方へも理念について知って頂くよう掲示が出来ていなかった。	理念の掲示を行い、よりよいケアや専門性の向上に繋げがるようにする。	理念の掲示をする。	1ヶ月
2	8	更なる職員の資質の向上に努める。	・共通理解を図り実践ケアに結び付く勉強会を実施しチームケアとしての充実を図る。	・勉強会、研修会に積極的に参加し実践ケアで活かせるような知識や技術の習得を図る。 ・日々の業務の振り返り・評価・反省・課題の抽出・改善・次の取り組みをしっかりと考える。	6ヶ月
3	11	施設全体会議やユニット会議の持ち方を工夫されたい。	・職員同士が、活発な意見を言い合える場の雰囲気をつくる。	・会議前には、職員に議題を集める。 ・会議での取り組みは、確実に実行し、継続に努める。 ・愚痴を提案にかえる。	6ヶ月
4	49	・日常生活の中の余暇の時間を何をして過ごして頂くか、また、グループホーム内だけの生活にとらわれず、入居者一人ひとりの生活歴を知り、日常生活の過ごし方を再度見つめ直す。	・入居者の生活歴や1日の過ごし方を見直し、認知症の予防や社会参加、活性化を図る。 ・外出支援を増やし、気軽に外に出掛けられる機会を作る。入居者の居心地のいい環境「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」という、入	・生活の継続として捉える外出。 ・気分転換の外出を増やす。入居者一人ひとりの要望を伺う。 ・行った事がない場所であったり、季節、希望に沿った企画を提案をし、入居者の方に充実した時間を過ごして頂く。	6ヶ月

5					
---	--	--	--	--	--

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。